



2025年(令和7年)
4/5土
April
No.714

こども

家族でまなぶ

WEEKLY

ライオン

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811
定価 月550円(本体価格500円)
1部150円(消費税50円)
購読申し込み 0120-454010



WEBSITE

中日こどもで検索

メインキャラクター
まなぶ
©中日新聞社



4910855160551 00136

https://www.chunichi.co.jp/wadai/kodomo_weekly

キューブブーム再び



さまざまな種類があるルービックキューブ。世界中で、最も多くの種類が発売された国は日本だといわれています。東京都内の株式会社メガハウスで

新コーナー 楽しんでね

編集室から、4月に始まる新コーナーをお知らせします。9面には「絶滅動物とヒトとの物語」が登場。動物が絶滅した原因や背景を探ります。コラム「親の時間 子の時間」には、アイドルグループ「SK E48」のメンバーが加わります。さらに、今日の紙面から、取材した記者の名前も入ります。どんな記者がどんな記事を書いているか、注目してくださいね。

白、赤、青、黄、緑、オレンジ。六つの色に彩られた小さな立方体は、発明から半世紀がたった今も世界中を魅了しています。

ハンガリー生まれの立方体パズル、ルービックキューブは今年で日本上陸から45年。発売初年度の1980年度には400万個が売れる大ブームになり、店頭では品切れが続出しました。

一時的な流行で終わらなかったのがルービックキューブのすごさ。パズルやクイズで頭を鍛える「脳トレ」ブームに乗るなどして、何度も注目されてきました。

実は今、発売以来のブームが起きています。コロナ禍の巣こもり需要で売れ行きが伸び、人気は右肩上がり。2023年度の出荷数は92万個と、発売初年度に次ぐ数字になりました。全国各地で行われる大会は参加者が増える一方、小中学生の参戦も目立ちます。6面全てを合わせるまでの時間は、小学生でも30秒を切るとか。早業にびっくりですね。

6、7面の「まるごと大図解」でルービックキューブを取り上げました。深く知り、あなたも6面制覇にチャレンジ!



今週のイチオシ!
2面
取材ノート
進化する人工知能(AI)

45面
日本すごい人伝
難民の救済に尽力
緒方貞子

12面
Zoom アップ!
俳優 水上恒司さん

ニュース 1年生
ひさびさの大ジャンプ!
待ちました! 大ジャンプにかん声が上がります。能登半島地震でひさいした石川県七尾市の「のとしま水族館」で、1年3カ月ぶりにイルカショーが開かれました。ひなんしていた動物が全てもとどり、おとずれた親子づれにも、えがおが広がりました。